



第10回 所内 写真コンクール入選作 「人工水晶の結晶面」 技術部 地球化学課 砂川一郎

「人工水晶の結晶面」

水晶というと印材やアクセサリーのことをまず思いですが水晶が最近もっともよく使われているのは 水晶発振子などの電子工業の分野である。発振子用の水晶は とくに良質で双晶などの含まれていないものが望ましい。そのような水晶の結晶は 天然では産出が少なく 減少する一方なので 熱水合法で人工的に水晶の結晶をつくる研究が 戦争中から各国でさかに行なわれた。現在では 人工水晶は全完に企業化されており 日本でも2社で製造している。この写真は東洋通信機KKKでつくった人工水晶の結晶の $\gamma$  (10 $\bar{1}1$ ) 面の表面にみられる成長模様を低倍率の顕微鏡写真である。結晶面を真空中で銀蒸着して反射率を高め 反射顕微鏡で撮影したもので成長層のつき重なりでできた頂上の平らな丸い丘が無数に存在して 一見月の表面のような あるいはアブストラクト絵画のような印象を与えている。

.. 地質調査所の出版物 ..

地質調査所月報 第15巻 第6号

報文

河内 洋佑・石原 舜三・神戸 信和：鹿児島県双子島および黒神の角閃岩

高橋 稠・安藤 武：埼玉県内新設工場群を対象とした地下水地域調査報告—関東西部地域調査第12報

岸 和男・池田 喜代治：由良川および円山川水系産業用水資源について

概報

佐藤 良昭・釧路炭田西部常室川中下流付近に分布する第三紀層の重鉱物

尾上 享・北海道東部池田層の花粉分析

資料

シボテ・アリン南部におけるパリスカン褶曲帯の境界および東西方向構造帯の存在について (桑野訳)

No 120 8月号 目次

- 新潟地震を予察して
- アラスカ地震の速報
- 地球上に存在しつづけてきた放射性元素
- セコイアとメタセコイア
- フォッサマグナの西の縁
- 大佐和層序試錐開坑
- やさしい地質学 地下資源の話
- オーストラリアの石炭
- 地学と切手

地質ニュース

第119号 7月号

定価 170 円

昭和39年7月25日

発行

編集

発行人

発行所

工業技術院 地質調査所

株式会社 久雄

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段4の11

Tel. (261) 7173・9387

振替口座 東京 32466

政府刊行物販売所

東京都千代田区大手町1の5

Tel. (221) 5570

総発売元

印刷所

共同印刷株式会社